

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	上水道及び簡易水道	コード	01-01-09	作 役 職 氏 名	上下水道部 水道課長 金井 和字
		作成者		電 話	0 8 6 9 - 6 6 - 9 7 9 1
				このシート作成に要した時間	7.0 時間

この施策の アピール ポイント	豊富な水源から 清浄でおいしい水を 安定してお届けしています
-----------------------	--------------------------------

この施策の 平成23年度の 施政方針	<p>上水道及び簡易水道についてであります。水道は、市民の皆様の健康で快適な生活や産業活動を支えるライフラインとして、重要な社会基盤を担っております。将来にわたり安全・安心な水を安定的に供給していくため、備前市水道ビジョンと水道施設整備計画に基づき、老朽化施設の更新、施設の耐震化などの整備を進めているところでありますが、人口の減少、節水機器の普及によって給水量の落ち込みが続き、厳しい経営状況が予測されることから、実施事業や実施期間、施工方法等の見直しを行い、事業費の縮減を図ることとしております。</p> <p>平成23年度は、敷地造成工事中の（仮称）坂根配水池に接続する送・配水管敷設工事と日生第二配水池の耐震化事業を行う予定としております。一方、既存施設については適正な維持管理を行うとともに、外部委託についても検討を行い、効率的かつ合理的な事業経営に向け努力をしております。</p> <p>地域の生活基盤である簡易水道事業及び飲料水供給施設については、経営基盤強化の観点から、国の指導に沿って、簡易水道事業と上水道事業の統合を、26年度を目途に準備を進めて行くとともに、施設の適切な管理運営を図り、安全でおいしい飲料水の供給に努めてまいります。</p>
--------------------------	---

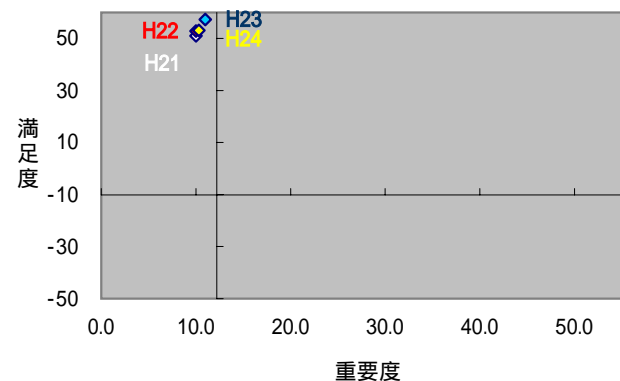
< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標（大項目）	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策（中項目）	安全で快適に暮らせるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	水道水は、市民の日常生活、地域の産業経済活動において欠くことのできないものです。安全で安定した水供給のため、厳格な水質管理と施設の計画的な整備更新により、広範囲な水道網の適切な維持管理の上で、生活環境の改善と公衆衛生の向上を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	給水区域内の人口減少、利用者の節水意識の浸透などにより、水需要は減少の影響から、経営面では平成18、19年と2年連続の赤字決算となったこと、また、合併後の料金の不均一を是正するため、平成20年に水道料金の改定をさせていただきました。現在、水の安定供給継続のため、収益増に直結しない投資ではありますが、長期的な視野に基づく整備計画により、老朽施設の更新、施設の耐震化等の施設全体の整備を進めています。健全な事業運営を行うためには、施設整備も重要であります。徹底した施設整備コストの縮減を図り、経営の効率化に努めなければなりません。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の計画的な整備（経営状況に見合った整備計画の再検討） 簡易水道の統合、飲料水供給施設・簡易給水施設の見直し 震災・災害に対する施設整備と非常時給水体制の整備 環境対策と水の安定供給 水質管理の徹底 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度 (%)	10.0	10.0	11.0	10.3
満足度 (%)	51.0	52.9	57.3	53.1

高↑	<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要	<維持領域> 現状の方向を継続
平均		
低↓	<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要	<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う
	低 ←	重要度 → 高



調査結果に対するコメント、市民の反応等 〔調査対象でない施策は、市民の反応等〕	満足度では高く、重要度では平均を下回るという形で推移しています。重要度が低いのは、安定した供給ができていてことことの証しであると捉え、ライフラインである「水道」の重要性は、十分に理解いただいていると思いますので、「蛇口をひねれば水が出る」という状態が当たり前であるよう引き続き努力します。
--	--

施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

成果指標	施策に対する成果指標名	単 位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H21	H22	H23			H24	H25
年間有収率	目標	%	92.0	92.0	92.0	年間の料金徴収の対象となった量(有収水量)の配水量に対する割合(%) 【有収水量÷配水量】×100】	H24	92.0	
	実績	%	88.1	87.7	87.9		H28	95.0	
	達成率	%	95.8	95.3	95.5		-	-	
	ベンチマーク		85.8	85.8	85.8		公営企業年鑑(210団体の平均)	-	-
水道料金収納率(現年分)	目標	%	99.10	98.85	98.85	年間の料金収納額の料金徴収確定額に対する割合(%) 【年間料金収納額÷年間料金徴収確定額×100】	H24	98.85	
	実績	%	98.27	98.33	98.57		H28	99.00	
	達成率	%	99.2	99.5	99.7		-	-	
	ベンチマーク						-	-	
年間給水量	目標	千m3	6,500	6,434	6,398	計画給水人口に伴う水需要予測に対する年間実績給水量の割合(%) 【年間実績給水量÷目標給水量×100】	H24	6,362	
	実績	千m3	6,185	6,285	6,315		H28	6,126	
	達成率	%	95.2	97.7	98.7		-	-	
	ベンチマーク						目標値は予測見込値	-	-
経常収支比率	目標	%	110.0	110.0	110.0	経常収益の経常費用に対する割合(%) 【(営業収益+営業外収益)÷(営業費用+営業外費用)]×100】	H24	110.0	
	実績	%	113.4	116.1	116.7		H28	110.0	
	達成率	%	103.1	105.5	106.1		-	-	
	ベンチマーク		100.0	100.0	100.0		(業務指標)100%以上であることが望ましい。	-	-

目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
商工観光課 企業誘致係	新規企業の誘致・市内企業の拡張に係る情報収集	水需要の増大が図れる。ただし、送配水管の改良などの投資や工業用水的な料金体系又は大口需要者への優遇措置の検討が必要となる場合もある。
農林水産課 吉永・日生総合支所	飲料水供給施設・簡易給水施設管理運営事業	水道法適用対象でなく上水道事業との一体管理では無駄が多い。農山村振興事業として地域居住者への行政サービスについて一体的に検討することで効率的な運営ができる。

施策の評価

項 目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判 断 理 由 (なぜ、そのランクと評価したのか)				
1	<成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	上水道事業は、地方公営企業法のもと独立採算制の運営であり、年間有収率を90%台に向上させることで、無効水量を減少させ、動力費の低減など効率的運営に繋がれる。			
2	<事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	水道は、ライフラインとして欠くことのできないものであるが、上水道事業と簡易給水及び飲料水供給施設事業を一体的に処理している現状に無理がある。効率的な事務事業の運用ができるよう事務組織の再編について検討が必要である。			
3	<施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	有収水量の向上に向け、漏水箇所の早期の発見・対応を心がけ、安定供給の維持と有収率の向上に取り組んでいるものの、効果が出ない。事業所の需要が伸びており、一部業種では飛躍的な給水量の伸びも期待でき、厳しい状況に変わりない中で明るい兆しもある。			
	進行年度(H24年度)の取組内容 (課題解決状況)		漏水の早期発見のため計画的な漏水調査が必要である。送水地域別の有収率調査などチェック体制を考えたい。施設整備(老朽化施設の更新等)は、計画に基づき経営状況に合わせた見直しの下で進めている。施設の耐震化については、基幹管路の位置付けを行い、計画の策定を進めている。技術系職員の育成や、職員削減に伴う事務対応などを検討する。			
	翌年度(H25年度)の取組目標		厳しい経営状況が予測される中、水道水の安定供給のため長期的視野に基づき策定された施設整備計画を経営規模に見合った形で実施することで、適正な水道料金を維持しながら健全な水道事業経営に努めていく。			
	二次評価者コメント 役職 上下水道部長 氏名 石橋 雅之		水道水の安定供給のため施設の整備・更新等、水道施設整備計画(H20~H29)を進めているが、多額の費用を要し水道料金にも直結する事業であるので、健全な経営状況に配慮しながら進めてください。また、職員の育成や技術の継承など計画的な取り組みを考えてください。			基本施策への 貢献度 4 やや高い

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 上水道管理運営事業	水道施設維持管理運営事業	単市	101,121	32,806	4.14	99,589	39,050	4.78	97,391	44,442	5.57	164,665	
	水道施設建設事業	単市	78,474	7,706	0.78	211,848	4,898	0.50	330,683	3,253	0.35	466,125	
	水道施設改良事業	単市	155,877	25,269	3.43	190,817	27,709	3.54	124,169	19,624	2.65	381,357	
	水道事業審議会運営事務	単市				0	0	0.00	0	0	0.00	390	* 法定事務
	水道事業計画事業	単市	0	2,743	0.26	0	488	0.05	0	101	0.01	0	
	企業債管理事業	内部管理	103,179	1,445	0.15	103,941	1,583	0.16	135,184	1,626	0.16	169,062	
	日本水道協会会費	内部管理	165	0	0.00	159	0	0.00	155	0	0.00	157	
	日本水道協会中国四国地方支部会費	内部管理	66	0	0.00	64	0	0.00	62	0	0.00	63	
日本水道協会岡山県支部会費	内部管理	62	0	0.00	72	0	0.00	26	0	0.00	26		
岡山県電力協議会会費	内部管理	17	0	0.00	17	0	0.00					* H22終了	
2 水質管理事業	水質管理事業	単市	6,266	6,270	0.66	6,330	5,881	0.60	6,364	3,640	0.36	7,528	
3 水道料金賦課徴収事業	水道料金賦課徴収事業	単市	27,706	34,466	4.41	28,591	37,956	4.64	32,049	35,359	4.39	32,561	
4 簡易水道事業管理運営事業	簡易水道事業管理運営事業	単市	21,806	5,793	0.69	24,512	4,536	0.48	26,781	3,564	0.38	25,948	
5 飲料水供給施設管理運営事業	飲料水供給施設管理運営事業	単市	9,423	5,783	0.71	7,334	3,613	0.38	8,592	3,006	0.31	12,584	
6 簡易給水施設管理運営事業	簡易給水施設管理運営事業	単市	5,143	3,695	0.42	7,043	3,709	0.39	5,316	1,728	0.18	5,852	

年間有収率		H21	H22	H23
有収水量	m3	5,447,933	5,511,271	5,547,567
配水量	m3	6,184,558	6,285,473	6,315,069
	%	88.09%	87.68%	87.85%

収納率		H21	H22	H23
料金収納額		694,489,589	703,988,435	710,361,691
料金徴収確定額		706,697,774	715,935,989	720,684,256
	%	98.27%	98.33%	98.57%

給水量		H21	H22	H23
実績給水量	千m3	6,185	6,285	6,315
目標給水量	千m3	6,500	6,434	6,398
	%	95.1%	97.7%	98.7%

経常収支比率		H21	H22	H23
営業収益		828,808,217	834,436,015	845,729,464
営業外収益		5,497,780	5,282,390	4,600,722
営業費用		695,304,639	683,536,291	690,555,214
営業外費用		40,313,571	39,737,965	38,281,306
	%	113.42%	116.10%	116.67%

この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度
			509,305	125,976	15.65	680,317	129,423	15.52	766,772	116,343	14.36	1,266,318